実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	1, 022, 290	1, 180, 000			
施	財	国庫支出金		円					
me	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	171, 600	174, 000			
状	訳	一般財源		円	850, 690	1, 006, 000			
			目標	人	10	10			
		提供者数	実績		14				
況	活		達成率	%	140. 00	_	_	_	_
N.	動		目標		100	100			
	動指	延提供回数	実績		129				
	標		達成率	%	129. 00	_	_	-	_
<u> </u>			目標	_					
		_	実績						
			達成率	%		_	_	_	_
D	_15.	事業利用者の在宅介護	目標	%	90	90			
	及	継縛率	実績	07	90				
	成果指		達成率	%	100.00	_	_	_	_
	招標		目標	_					
0	尓	_	実績	0.4					
	/±		達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
)	考								
	有								

指標名称

事業利用者の在宅介護

%

単 位 | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など | 最終目標値

90

事業利用者のうち施設入所となった者を除 した人数が、事業利用者数に占める割合

の

作

成

果 指標 変更 履歴 成果・効果は何?

成 1 本事業利用者の在宅生活が継続される

			へれあい保健福祉事業 短期	入所事業	事業期間	間 2000 ~	F度 係内番号 11
担				合者・保険課	高齢者		連絡先 334
事	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中	当始を5ヶ月の 15 日本 15	約経 新た問 た環					
評	新実画要(改 翌年施・求改善年施・求改善年	計 予算 事項 革・					
	度	果					
	方向 性	コスト					
価	課長評	価日					
	項		2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事			高齢者の方が自立して在 宅での生活を継続できるよう、また高齢者を介護する 家族の方の介護負担を少				
後	要標		しでも和らげ在宅生活を継続できるよう、必要なサービスを提供したため、介護予防、自立支援、生活機能				
評			の維持向上を図ることができた。				
	;	析	状況に応じて、必要な日数				
価 (C		成果	状況に応じて、必要な日数 の短期入所を支援すること ができた。				
н	総合						
ЕС	評価	課	一利用者の利用日数が長くなった傾向があり、目標 値より増加した。				
к)		題					
改	翌々 年度	成果	現状維持				
革	方向 性	コスト	縮小				
・改善の	改 及 革	果	平成29年度から平成30 年度にかけて、短期入所 利用日数が減少傾向にあ るため、平成31年度はコ ストを縮小する。				
方向性		ストの・					
^ A	改	方向性					
C F)	善策び	の 内 容					
作	成担当	者	伊藤 浩志				
	· 評価責		平澤 精一				

第5次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート(主要事務事業用) 【一般会計】 整理番号 04020212 事務事業名 ふれあい保健福祉事業 訪問サービス事業 事業期間 2000 年度 係内番号 12 担 当 部 署 健康福祉部 高齢者・保険課 高齢者福祉係 連絡先 334 施策の 基 項日 計画名称 施策の柱の名称 計画CD 柱CD 実行計画 政 本 の施策の 基本計画① 01 地域福祉計画 0000 複数の柱にまたがる事業 策 01 柱におけ 中 番 画 基本計画② 0000 01 地域福祉計画 複数の柱にまたがる事業 る指標と 묻 体 の関連度 実行計画 02 高齢者保健福祉計画 (一般会計分) 0405 生活支援サービスの充実・強化 系 会計コード 01 款 03 項 01 目 09 事業 02 名 ふれあい保健福祉事業 訪問サービス事業 計 寝たきり、認知症、疾病等により日常生活において援護を必要とする者、要介護状態となる恐れの高い高齢者(おお 事 務 事 業 の 概 要 ヘルパーによる訪問介護(生活援助・身体介護)または看護師による訪問看護を行います。 画 要介護認定をされた者で、高齢者世帯、障害者世帯であって介護力が極めて小さい事等により、介護保険法の規定に よる保険給付等が不足することにより、在宅生活の継続が困難となる。 現 状 と 背 景 (どうして) 受益者と要介護認定者及びその家族(介護者)。 (誰のために) 対 象 | 要介護認定者及びその家族(介護者)。 目 直接働きか Р 的 高齢者の方が自立して在宅での生活が継続できるよう、また高齢者を介護する家族の方の介護負担を少しでも和らげられるよう、必要なサービスを提供し、援護を必要とする方が健全で安らかな生活ができ介護予防、自立支援、生活機能の維持向上を図る。 図 (どんな状態にしたいか) L (どうやって) Α 行政が活動することで作り出すもの指 名 称 単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値 標 1 訪問サービス事業が提供される① 提供者数 人 訪問サービスが提供された実人数(実績) 10 活 N 動 250 2 訪問サービス事業が提供される② 延提供回数 訪問サービスが提供された回数(実績) 評 指 標 価 指 変更 標 履歴 ഗ 成果・効果は何? 指標名称 単 位 | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など | 最終目標値 作 事業利用者のうち施設入所となった者を除 した人数が、事業利用者数に占める割合 事業利用者の在宅介護 成. 成 1 本事業利用者の在宅生活が継続される % 90 果

実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	985, 920	835, 000			
施	財	国庫支出金		円					
лв	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	71, 890	85, 000			
状	訳	一般財源		円	914, 030	750, 000			
			目標	人	10	10			
		提供者数	実績		10				
況	活		達成率	%	100.00	_	_	_	_
沥	動		目標		250	250			
	動指	延提供回数	実績		274				
	標		達成率	%	109. 60	_	_	_	_
~	IVI		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
		事業利用者の在宅介護	目標	%	90	90			
D	成	継続率	実績		90				
	成果指		達成率	%	100.00	_	-	_	_
	指		目標	_					
0	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
)									
	考								

指標変更履歴

+ ~	<i>τ</i> ≠ ^{μμ}	<i>t</i> 7 •	An day to the Park See And wide with the Park			中** #**	0000	<i>J</i>	万山平 口	40
		_	へれあい保健福祉事業 訪問			事業期間	2000 ~	4 度	係内番号	12
				・ 保険課	****	高齢者福			連絡先	334
事	項[_	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022≇	F. 度
	当年度 始後、									
	5ヶ月 <i>だ</i> 過し、新	が経								
	に生じ	た問								
中	境の変	化								
	新年度		,							
	実施討	+								
	画·引要求事									
評	(改革	Ĕ・								
	改善第									
	翌年度	成果								
	方向性	コスト								
価	課長評	価日								
	項	1	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	F度
			高齢者の方が自立して在 宅での生活が継続できる							
事	変見	果	よう、また高齢者を介護す							
	動技	岩	る家族の方の介護負担を 少しでも和らげられるよう、							
後	要村		必要なサービスを提供したため、援護を必要とする方							
		-	が健全で安らかな生活が							
評			でき介護予防、自立支援、生活機能の維持向上を図							
	<u></u>	折	ることができた。							
価			利用者の状況に応じて、訪 問介護や訪問看護を適切							
		成	な内容で利用していただく ことができた。							
(
С		果								
н	総合									
	評		概ね目標値と実績が一致							
E	価		する内容となった。							
С		課								
. v		題								
K										
)										
改士	翌々年度	成果	現状維持							
革	方向 性	コスト	縮小							
	改及		平成29年度から平成30 年度にかけて、単価の高							
改		果	い訪問看護の利用日数の 減少があるため、減額す							
善	革	やコ	あ 。							
o		コス								
方士		^ -								
向		の								
性	改	方								
$\hat{}$		向								
A	善	性								
C	古	の								
T	ht 3	内								
	策び		No. of the last of							
	成担当 ^{咚評価責・}		伊藤 浩志 平澤 精一					_		
耳又形	・ ロー 川 貝 「	工日	一 一一 一	Î.						

第5次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート(主要事務事業用) 【一般会計】 整理番号 04020213 事務事業名 ふれあい保健福祉事業 通所サービス事業 事業期間 2000 年度 係内番号 13 担 当 部 署 健康福祉部 高齢者福祉係 連絡先 334 高齢者・保険課 施策の 基 施策の柱の名称 項日 計画名称 計画CD 柱CD 実行計画 政 本 の施策の 基本計画① 01 地域福祉計画 0000 複数の柱にまたがる事業 策 01 柱におけ 中 番 画 基本計画② 0000 01 地域福祉計画 複数の柱にまたがる事業 る指標と 묻 体 の関連度 実行計画 02 高齢者保健福祉計画 (一般会計分) 0405 生活支援サービスの充実・強化 系 款 03 項 01 目 09 事業 03 算 事 業 名 ふれあい保健福祉事業 通所サービス事業 会計コード 01 要介護の認定をされた者で介護の負担が極めて大きい者や、日常生活を営むのに支障のある者、要介護状態等になる 事務事業の概要 とによって、これらの者の生活の助長、閉じこもり予防、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るととも に、その家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図る。 計 画 介護保険による給付では在宅生活を継続することが困難な方や、要介護状態になる恐れの高い者等が通所施設に通い、機能訓練・食事・入浴等の介護を受けることで、心身機能を維持し、在宅での生活を継続できるようにする必要 現 状 と 背 景 (どうして) 受 益 者 要介護認定者等及びその家族(介護者) (誰のために) 対 象 要介護認定者等及びその家族(介護者) 象 対 目 直接働きか Р 的 通所介護事業所等に通わせ、必要なサービスを提供することで、これらの者の生活の助長、閉じこもり予防、社会的 孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図る。 (どんな状態にしたいか) 要介護認定を受けている方又はその家族の方は、介護支援専門員との相談等により、必要なサービスを保健福祉サービスセンターに申請し、利用の決定を受ける。保健福祉サービスセンターは介護保険によるサービス等と合わせてケチン等に基づいて、どの程度提供するか決定する。この事業は介護保険法に規定する指定居宅サービス事業者に L 委託して行う。 (どうやって) Α 行政が活動することで作り出すもの指 称単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値 標 名 1 通所サービス事業が提供される① 提供者数 人 通所サービスが提供された実人数(実績) 15 活 N 動 2 通所サービス事業が提供される② 150 延提供回数 通所サービスが提供された回数(実績) 評 指 標 価 指 変更 標 履歴 ഗ 成果・効果は何? 指標名称 単 位 | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など | 最終目標値 作 事業利用者のうち施設入所となった者を除 した人数が、事業利用者数に占める割合 事業利用者の在宅介護 成 成 1 本事業利用者の在宅生活が継続される % 90

実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	1, 490, 090	2, 016, 000			
施	財	国庫支出金		円					
ЛE	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	199, 885	220, 000			
状	訳	一般財源		円	1, 290, 205	1, 796, 000			
			目標	人	15	15			
		提供者数	実績		15				
況	活		達成率	%	100.00		_	_	_
200	動		目標		150	150			
	動指	延提供回数	実績		157				
	標		達成率	%	104. 67	_	_	_	_
<u> </u>			目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
D	_+	事業利用者の在宅介護	目標実績	%	90 90	90			
	以田	継続率	夫 傾 達成率	%					
	成果指			90	100.00	_	-	_	_
	標		目標実績	_					
0	尓	_	達成率	%	_	_	_	_	_
	備		廷队平	70	_	_	_	_	_
	ΝĦ								
)	考								

果 指 標 変 履歴

					1		
			、れあい保健福祉事業 通				F度 係内番号 13
担:				「齢者・保険課		齡者福祉係	連絡先 334
事	項目		2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度 始後、約	開約					
	5ヶ月カ	バ経					
	過し、親に生じた	と問					
中	題点や 境の変	環 化					
				\			
	新年度 実施計						
	画・予	9算					
評	要求事 (改革						
	改善策						
		成					
	度 方向	果コスト					
価	性課長評						
			0046				
	項 目		2018年度(H30) 通所介護事業所等に通れ	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事			せ、必要なサービスを提供	共			
	変見	₹	したことで、これらの者の 生活の助長、閉じこもり予	•			
後	動打	旨	防、社会的孤立感の解消 心身機能の維持向上等を				
-	要相	票	図るとともに、その家族の)			
est.	因乡	分	身体的及び精神的な負担 の軽減を図ることができ				
評			た。				
	The state of the s	Л	利用者の必要な範囲で通	<u> </u>			
価			所利用を支援することが* きた。	で			
		成	C/20				
		果					
С	6/1	木					
н	総合						
F	評		概ね目標値と実績が一致				
E	価		する内容となった。				
С		課					
		題					
K							
)	700						
改	翌々 年度	成 果	拡充				
革	方向 性	コスト	拡大				
•		成	平成31年度においては、 通所利用日数が長くなって	_			
改		果	いる傾向があり、本事業の	6			
善	革	ゃ	コストを増やす。				
Ø		_					
方		ス					
向		<u>۱</u>					
性	71-	の 方					
~	改	カー					
Α		性					
С	善	の					
Т		内					
)	策び	容					
15	成担当	_	伊藤 浩志				

最終評価年月日

平澤 精一

第 5	次	茅野	野市総合計画・前期事務事業評価シート(主要事務事業用)													【一般	会計	ł]		整	理番	号 04	020215
事務	事美	業名	Š	れ	5い保(建福祉	事業	福祉用具	貸与事業						事業期間	2000) 1	~		年度	係内	番号	15
担当	当部	署	倜	康神	畐祉部			高齢者・	保険課						高齢者福	祉係					連絡	各先	334
	πh			基	項	目	計画CD		Ī	計画名称	i.			色策の 柱CD		施	策の村	主の名	称		VII.0	実行計画	<u> </u>
	政策	01		本計	基本語	+画①	01	地域福祉	計画				C	0000	複数の柱に	またが	る事業	ţ				の施策の 注におい	
	番号	01		画体	基本語	†画②	01	地域福祉	計画				C	0000	複数の柱に	またが	る事業	ŧ				る指標と	<u>-</u>
	7			系	実行	計画	02	高齢者係	健福祉語	十画(一	般会計	分)	C	405	生活支援も	ナービス	の充実	€·強化			(の関連原	ŧ
e.L	予	算	事	1	業 名			健福祉事								会計:				03			9 事業 05
病院又は介護保険施設等を一時的に退院(外泊等) 事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)																	生宅で	自立	した生	活が	送れる。	よう、特	
	高齢者等の在宅サービスの推進を図るため、介護保険等の現状と背景(どうして)													等の情	制度内でに	は提供	困難	なサー	ビス	を提供	する。	•	
P	世											<u>方。</u> はおお 方。	むね	6 5 i	歳以上の	者で、	病院により、	又は介	護保	険施設	等か	ら一時	的に退院
L	手				たいか) 片 法	申請:	があっ の実施	たときは は、市が	、保健福	祖サー	ピスセ に委託	ンター して行	におい、	いて、 以下(、その必 の物を貸 (3) 床ずれ	要性を	検討						き人徘徊
A					て)	感知	機器	(6) #	多動用リ	フト(つ	り具の	部分を	除く	.)	(7)スロー	ープ(可動:	式のも	のに	限る。)		
			行	政	が活	動する	ること	で作り出	出すもの	指	標	名	称自	单 位	立 算出方	法・計	算式	・目標	値設	定の考	え方	など最	終目標値
		活	1	福祉	L用具:	貸与事	業が担	是供される	5 ①	提	供者実	人数		人	本事業	を提供	した	実人数	(実	績)			2
N	- π	動指	2	福祉	L用具:	賞与事	業が担	是供される	5 ②	掛	是供品	目数		人	福祉用	具が貸	与さ	れた件	数(実績)			2
	評価		3																				
)	指標			更									<u> </u>									I	
	の 作					成果	· 効果(は何?		指	標	名 称	7	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	値設	定の考	え方	など最	終目標値
	成	成	1	施計	と・病	完から	一時州	帯宅ができ	<u></u> きる	— ₽	時帰宅?	実現率		%	事業決合	定者の	うち	一時帰	宅が	できた	者の	割	100
		果指	2																				
		標		E更 {歴						<u></u>					1								

実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事業費等(a)		円	37, 450	117, 000			
施	財	国庫支出金		円					
лв	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	5, 110	7, 000			
状	訳	一 般 財 源		円	32, 340	110, 000			
			目標	人	2	2			
		提供者実人数	実績		2				
況	活		達成率	%	100.00	_	-	_	_
<i>13</i> 15	動		目標	人	2	2			
	動指	提供品目数	実績		3				
	標		達成率	%	150. 00	_	_	_	_
~	IVA		目標	_					
		-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
			目標	%	100	100			
D	成	一時帰宅実現率	実績		100				
	果指		達成率	%	100. 00	_	_	_	_
	指		目標						
0	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

		_	へれあい保健福祉事業 神				事業期間	2000 ~	年度	係内番号	15
担	当部署	客		高齢者	• 保険課		高齢者福			連絡先	334
事	項目		2018年度(H30)		2019年度	2020年度		2021年度		2022年	度
	当年度	開									
	始後、約	バ経									
	過し、剃に生じが	と問									
中	題点や 境の変	環 化									
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			\setminus							
	新年度 実施計										
	画・予	算									
評	要求事										
	改善第										
		成									
	度 方向	果 コスト		_							
価	性課長評			\vdash							
imi.											
	項 目		2018年度(H30) 病院又は介護保険施設	*	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	度
事			から外泊等する方へ、福	祉							
	変身	Ł	用具を貸与することにより、心身機能の維持向よ								
後	動打	Ħ	や日常生活の自立支援を図るとともに、その家族	等							
	要相	票	の身体的及び精神的な:	E							
ear.	因乡	<u>}</u>	担の軽減を図ることがでた。	ਣ							
評											
	t)	Л	福祉用具貸与対象品目	=							
価			スロープ(可能式のもの限る)を追加するよう検討	=							
		成	し、平成31年度からの2	x							
		果	事業の実施要綱に貸与 象品目を追加するように	材 し							
С	4/1		た。								
н	総合										
F	評		概ね目標値と実績が一致	汝							
E	価		する内容となった。								
С		課									
v		題									
K											
) :	777	-8									
改立	翌々年度	成 果	現状維持								
革	性	コスト	縮小								
	改及		平成31年度においては 本事業の利用日数が減	<u>.</u> ا							
改		果	しているため、コストを締	小							
善	革		する。								
Ø		コっ									
方		スト									
向		トの									
性	改	方									
^	ijΧ	向									
A	٠	性									
С	善	の									
Т		内									
J	策び	容									
11-	成担当	+/	伊藤 浩志								

最終評価年月日

平澤 精一

第 5	次	茅野	ī d	総1	合計画	・前	期事務	8事業評価シー	ト(主要事	務事業	用)			一般会詞	+]		整理	番号 0	4020216
事務	事美	集名	Š	れま	い保保	建福祉	事業	緊急通報装置等	貸与事業				事業期間	2000	~	年	度係四	内番号	16
担当	当 部	署	倜	康礼	區祉部			高齢者・保険部	ŧ				高齢者福	址係			連	絡先	334
	TL.			基士	項	目	計画CD		計画名称			施策の 柱CD		施策の	柱の名称	练		実行計	一画
	政策	01	1	本計	基本語	+画①	01	地域福祉計画				0000	複数の柱に	またがる事				の施策 柱にお	
	番号	VI		画体	基本語	+画②	01	地域福祉計画				0000	複数の柱に	またがる事				を	
	ב			系	実行	計画	02	高齢者保健福祉	上計画(一角	设会計分	•)	0405	生活支援サ	ービスの充	実·強化			の関連	度
-1	予	算	事	1	業 名	ふれ	あい保	健福祉事業 緊	急通報装置	等貸与	事業			会計コー	ド 01	款 03	項 (1 目	09 事業 06
FT FT					概要			高齢者等に対し 急時における通				界易に	行うために	□危機を貸	与する	ことにも	< り、E	常生活	舌の不安を
画(背景(て)		に急を 足する	要する危険性を ため。	有し、緊急	の通報	を必要と	:する(65歳以上の)上記の者	におい	て、介部	護保険+	ナービス	くでは対応
P	目的	対象	対	誰の <i>†</i>	を まめに) 象 動きかけ)	居者: 身体! 居者:	が寝た に急を が寝た	要する危険性をきり等の状態にきり等の状態に	<u>ある者又は</u> 有し、緊急 ある者又は	は長時間 の通報 は長時間	不在にすを必要と不在にす	トる者 :する(トる者	65歳以上の	ひとり暮					
		意 (どん	なり	態にし	図 たいか)			サービスセンタ							ウェ た 行	3 BE	100	51- ts.+	テって什取
L A					ち 法 て)	急通		ッ こへ ピング 受領証を引換え											
			行	政	が活	動する	ること	で作り出すも	の指析	票名	称	単(立算出方法	去・計算式	・目標	値設定の	の考えて	ちなど	最終目標値
		活	1	緊急	通報	装置貨	与事	業が提供される	緊急通報	級装置新 数	規設置	台		中に、新規 数(実績)	に緊急	通報装置	置が設情	置 さ	2
Ν	==	動指	2																
	評価		3																
)	指標			更														ı	
	の作		na	EILE		成果	· 効果(よ何?	指	標名	称	単位	算出方法	法・計算式	・目標	値設定の	つ考え方	など	最終目標値
	成	成	1	緊急	時の	通報手	段が研	住保されている	緊急通幸	设装置利	用者数	人		年度以降、 数(実績)	緊急通	報装置	を利用	して	20
		果指	2										V-60/X3	以 (大根/					
		標	翌	更								<u> </u>							
			盾	歴															

実		項				目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事	業	費	等	(a)		円	18, 582	213, 000			
施	財			東 支		金		円					
ИE	源		県	支	出	金		円					
	内		地	7.		債		円					
			その		宇定貝			円					
状	訳		_	般	財	源		円	18, 582	213, 000			
		緊急	西土田土	生體主	F. 丰田 梨	. 	目標	台	2	2			
		数	W TK 4	Z III. 41	טו אער ויג	L	実績		2				
況	活						達成率	%	100. 00	_	_	_	_
106	動					-	目標						
	動指	_					実績						
	標						達成率	%	_	_	_	_	_
						-	目標	_					
		_				-	実績						
							達成率	%		_	_	_	_
D	_	EV 44. 1	X 40 4	+ == =	51 CO 41	_	目標	人	20	20			
	成	緊急	盟和政制	安直不	明用者		実績	%	24				
	果指						達成率	90	120. 00	_	_	_	_
	押標	_				-	目標 実績	-					
0	尓						達成率	%	_	_	_	_	_
	備						廷以华	70		_	_	_	
	VĦ												
)	考												

事剂	务事業名	š	れあい保健福祉事業 緊急	总通報装置等貸与事業		事業期間	2000 ~	年度	係内番号	16
担:	当部署	子	康福祉部 高	齢者・保険課		高齢者福	业係		連絡先	334
事	項目		2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022£	F度
中	当年後、新5ヶ月、新に上に近年の変化の変化を表する。 かいしん はいい おいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	経た問環								
評		算項•) 成								
	+-	果	$\overline{}$							
価	性課長評価									
ĮΨ	林以 田山	ш								
事	項目	į.	2018年度 (H30) 緊急時における通報体制 が確保されることで、日常 生活での不安の解消を図 ることができている。	2019年度	2020年度		2021年度		2022≇	F度
後評	要標									
	○析	ŕ								
価 (C H E C K)	総合評価	成果	緊急通報装置を必要とする利用者に装置を設置することができた。 本事業での装置はNTT回線への設置に限られるが、NTT以外の回線の希望者があり、装置を設置できないことがある。							
) 1	99 A	ct:								
改革	年度	成果	現状維持							
・改善の方向性(・	改 革 . 改	果	現状維持 新規で緊急通報装置を設置する方が今後も継続されていくことが予想されるため、コストを維持していく。							
A C T	養び		jop tide vikde							
	成担当	_	伊藤 浩志 平澤 精一							
月又 市		- 1	丁/宇 作	1		1		1		

第 5	次	茅野	市	総合	合計画	ⅰ 前	期事務	8事業評価シ	一ト(主)		[[— A	设会 計	-]		整	理番	号 040	20219		
事務	事業		š	れま	が保保	建福祉	事業	訪問理美容助	成事業					事業期間	200	00 ^	-		年度	係内	番号	19
日 실	á 部	署	健	康祝	富祉部			高齢者・保障	食課				·	高齢者福	祉係					連絲	各先	334
	T L			基	項	目	計画CD		計画名	称			施策の 柱CD		抗	施策の村	主の名種	尓			実行計画	
	政策	01		本計	基本言	計画①	01	地域福祉計画					0000	複数の柱に	こまたが	がる事業	l .				の施策の	
	番号	UI 		画体	基本語	計画②	01	地域福祉計画	<u> </u>				0000	複数の柱に	こまたが	がる事業	1				柱におけ る指標と	
	75	l		系	実行	計画	02	高齢者保健社	冨祉計画(一般会	計分)		0405	生活支援も	ナービ	スの充実	・強化			•	の関連度	
	予	算	事	· *	業 名	ふれる	あい保	健福祉事業	訪問理美	容助成	事業				会計	· = - F	01	款	03 Ij	0 1	目 09	事業 09
it						在宅(の寝た	きりの高齢者	等に対し:	理美容	費を助斥	戊する	•									
					概要																	
画																						
				J		- L		及び傷病の等 であるため。	の理由に	より理想	髪店又は	ま美容	院に占	出掛ける	ことか	(困難で	であり、	、介	護者が	自宅	で理美容	を行う
		状どう			背 景 て)		ОШЖ	CW WILLOW														
_																						
			受	<u>右</u> 誰のた	益 者	対象	者と介	護者。														
	目	対象	対		象	要介	護3から	5要介護5まで て理美容を受	の認定を	されたす	首又は!	重度心	身障	書者で心!	身の間	書及び	パ傷病:	等の	理由に	より	理髪店又	は美容
Р	的		(i る	直接低	助きかけ)													C 86	りに有	•		
	цу	意			図	寝た	きりの	高齢者の心身	トのリフレ	ッシュる	を図ると	ことも	に、か	介護者のか	負担を	軽減す	ける。					
-		(どん)	な状	態にし	たいか)	N To	<u></u>	により実施さ	· do Z													
L						(1)	訪問到	単美容サービ	ス助成券を	年間4	枚を限	复とし	て申記	清者に交信	付する	5。助原	戊券1杉	と当た	りの	力成名	頁は1,50	0円と
					方 法 て)	(2)	助成刘	間は交付年度 対象者は事前	に助成券を	・希望す	る事業	者に	是出す	る。								
	` `	- 1	•		- /			皆は、助成対 と及びその助											がその	つ者に	こ交付さ	れたも
A	\neg	П	行	砂	が 活!			で作り出す		標	名	称.		立算出方					定の老	え方	など最	終日煙値
		-						が利用される	0 00 11	利用		1131	<u> </u>	訪問理								45
N		活	2	10/J IH	142	- 40 IV	***	3 447/13 C 40 W		49713		\dashv		ペ)								
		指	Щ																			
	価指	-	3	_																		
	標		_	更																		
	の作		112			成果	· 効果(は何?	指	標	名和	称	単位	算出方	法・言	計算式	• 目標·	値設:	定の考	え方	など最	終目標値
		成	1					のリフレッ		利用件	 -数率		%	本事業					前年度	の本	*	100
		果 指	2	<u> </u>	護石	の真性	生の早生湯	載が図られて	いる			\dashv		業の利	用件	双(延)	<u>~) </u>	100				
		標		更																		
				歴																		

実		項		目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費	等	(a)	円	46, 500	47, 000			
施	財	国庫	支 出		円					
ЛE	源	県支		金	円					
	内	地	方	債	円					
		その他			円					
状	訳	一 般	財	源	円	46, 500	47, 000			
				目標	件	45	45			
		利用件数		実績		34				
況	活			達成率	%	75. 56	_	_	_	_
ЮĽ	動			目標						
	動指	_		実績						
	標			達成率		_	_	_	_	_
$\overline{}$	1224			目標	_					
		_		実績						
				達成率			_	_	_	_
				目標	%	100	100			
D	成	利用件数率		実績		85				
	果指標			達成率		85. 00	_	-	_	_
	指			目標	_					
0	標	_		実績						
				達成率	%	_	_	_	_	_
	備									
J	考									
	有									

		_	れあい保健福祉事業 訪問			事業期間		年度 係内番号	19
_				齢者・保険課		高齢者福		連絡先	334
事	項[2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度	2022年	<u> </u>
	当年度 始後、	約							
	5ヶ月 <i>だ</i> 過し、新	が経 新た							
	に生じ	た問							
中	題点や境の変	化							
	新年度	隻の							
	実施討	†							
	画·予 要求事	事項							
評	(改革 改善第								
	翌年								
	度 方向	果							
_	性	コスト							
価	課長評	価日							
	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度	2022年	度
事	<u> </u>		訪問理美容券を適切に交付したため、寝たきりの高						
	変見	果	齢者の心身のリフレッシュ を図るとともに、介護者の						
後	動力	指	負担を軽減することができた。						
	要相	摽	,20						
評	因	分							
н	<i>∪</i> ∤	折							
価			必要な頻度について利用						
i Mari			していただくことができた。						
^		成							
С		果							
	総								
Н	合評		訪問理美窓の利用店舗に						
Ε	価		訪問理美容の利用店舗に 偏りがある。						
C		課							
		題							
K		KZ.							
V									
改	翌々年度	成果	現状維持						
革	万问 性	コスト	現状維持						
	改及	成	本事業の利用者増が見込 まれることから、平成31年						
改		木	度のコストを見直す。						
善	革	やっ							
စ +		コス							
方向		<u>۸</u>							
向林		の							
性	改	方							
^		向							
A C	善	性							
Т		の m							
-	策び	内							
作	成担当		伊藤 浩志		<u>.</u> 	<u> </u>			
	※評価責		平澤精一						
最終	評価年	月日	2019年5月17日						_

第5	次	茅野	市総1	合計画	・ 前期	事務	事業評価シート	(主要事	務事業月	用)		l	一般:	会計】	整	理番号	04020220
事務	事美	業名	ふれま	らい保	建福祉事	業	機能訓練事業					事業期間	2000	~	年度	係内番号	20
担:	当部	署	健康神	區祉部			高齢者・保険課					高齢者福	祉係			連絡先	334
	_,		基	項	目 a	十画CD	Ē	一画名称			施策の 柱CD		施第	その柱の名	称	実行	計画
	政 策	01	本計	基本語	計画①	01	地域福祉計画				0000	複数の柱に	またがる	事業		の施柱に	
	番号	U	画体	基本語	計画②	01	地域福祉計画				0000	複数の柱に	またがる	事業		る指	標と
	7		系	実行	計画	02	高齢者保健福祉計	画(一般	会計分)	ı	0405	生活支援サ	トービスの)充実・強(ե	の関	連度
計	予	算	事	業 名	ふれあ	い保	健福祉事業 機能	訓練事業					会計コ	ード 01	款 03 耳	頁 01 目	09 事業 10
画			業 の ゕりゃ	概 要	その機息によ	能をり心	歳未満で、介護保 維持・回復するた 身の機能維持・回	めに必要 ² 復が必要 ²	な機能割 な者に割	練を写 練を行	を施する すう事業	る。(介i 業だった)	蒦保険法	技施行以 前	がは40歳~6	歳未満の	脳血管性疾
) [とす				付によるリハビリ										
	皿	対 象	対		<u>介護者</u> 40歳か	665	歳未満で、介護保 歳未満で、介護保 ているが、現に就	険法に規	定する物	宇定疾病							
Φ	的	意	な状態にし	図			付の対象にならな 会をつくることで										ウリエー
L	-		・ , やっ	ち 法 て)	茅野市	健康	管理センター又は	、介護保	険法の規	定によ	とる指5	定居宅サー	ービス	(通所) 署	業者等に委	託して実	施する。
			行政	が活	動する	こと	で作り出すもの	指 標	名	称	単(立 算出方	法・計算	算式・目標	票値設定の考	え方など	最終目標値
		活	1 機育	訓練	事業が扱	是供る	される①	提	供者数		人	機能訓	練事業が	が提供さ	れた実人数	(実績)	1
N		動	2 機育	訓練	事業が扱	是供る	* 1 0	延担	是供回数	!		機能訓	練事業が	が提供さ	れた回数(別	ミ績)	4
	評価	指 - 標	3														
	指	-	変更														
	標の		履歴		P. 00			16 17				Andre . I . I				- 1 / 10	T= 45 = 1= 45
	作 成	륪			成果・落		- , ,	指 相 事業利用		称 2介護	単位	J			^{票値} 設定の考 <mark>施設に入所</mark>		最終目標値
	以	果		栗利	用者のも	王宅生	と 注話が継続される		性持率	- / DZ	%				業利用者数(100
		指標	2														
			変更 履歴														

実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	0	30, 000			
施	財	国庫支出金		円					
ИE	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円		6, 000			
状	訳	一般財源		円		24, 000			
			目標	人	1	1			
		提供者数	実績		0				
況	活		達成率	%	0. 00		_	_	_
200	動		目標		4	4			
	動指	延提供回数	実績		0				
	標		達成率	%	0. 00	_	_	_	_
			目標						
		_	実績	0/					
			達成率	%	100	- 100	_	_	_
D	_1 ;	事業利用者の在宅介護	目標実績	%	100	100			
	队	維持家	達成率	%	0.00	_	_	_	_
	成果指		目標	70	0.00	_	_	_	_
	指標	_	実績	_					
0	गम		達成率	%	_	_	_	_	_
	備		~./~	/0					
	IVII)								
<u> </u>	考								

	事務事業名 ふれあい保健福祉事業 機能訓練事業 事業期間 2000 ~ 年度 係内番号 20												
事剂	8事業:	名為	へれあい保健福祉事業 機能	能訓練事業	事業期	間 2000 ~ :	年度 係内番号 20						
担:	当部	署優	康福祉部 高	齢者・保険課	高齢者	福祉係	連絡先 334						
事	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度						
	当年度 始後、	開											
	カルス 5ヶ月が 過し、新	が経											
	に生じ	た問											
中	題点や 境の変	· 坛 化											
	站在在	± 0	<u> </u>										
	新年原実施記												
	画·音												
評	(改革	₫•											
	改善分												
	翌年度	成果											
	方向 性	コスト											
価	課長評	価日											
	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度						
事	~ J	戓	本事業の対象者は、40歳 から65歳未満で、介護保										
*	変!	果	険法に規定する特定疾病 以外の疾病・負傷により心										
後	動力	指	身の機能が低下している										
夜	要相	漂	者、要介護認定を受けているが、現に就介護給付を受										
-	因:	分	けていない者であるが、こ うした状況の方がいないた										
評	_ /		め利用がないといえる。										
, mer	1	ומ	利用者がいないため、特別]									
価			な成果が出ていない。										
^		成											
С		果											
	総												
Н	合評		障害福祉サービスや介護										
Ε	価		保険サービスにより必要な サービスは確保されている										
С		課	ため、相談・利用実績はな										
		題	い。一方で、今後、この事業の対象となる方が発生するおそれがあるため、事										
K		KZ.	するおそれがあるため、事 業を継続する。										
)													
改	翌々 年度	成果	現状維持										
革	方向 性	コスト	現状維持										
	改及		必要最小限のコストを見込む。										
改		果											
善の	革	やコ											
方		ス											
向		۲											
性		の											
H (改	方											
A		向											
С	善	性の											
Т		内											
)	策び												
11-	成担当		伊藤 浩志	1		·							

最終評価年月日

平澤 精一

第5次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート(主要事務事業用) 【一般会計】 整理番号 04020221 事務事業名 ふれあい保健福祉事業 在宅介護者緊急時支援事業 事業期間 2000 年度 係内番号 21 担 当 部 署 健康福祉部 高齢者・保険課 高齢者福祉係 連絡先 334 施策の 基 施策の柱の名称 項日 計画名称 計画CD 柱CD 実行計画 政 本 の施策の 基本計画① 01 地域福祉計画 0000 複数の柱にまたがる事業 策 01 柱におけ 中 番 画 基本計画② 0000 01 地域福祉計画 複数の柱にまたがる事業 る指標と 묻 体 の関連度 実行計画 02 高齢者保健福祉計画 (一般会計分) 0405 生活支援サービスの充実・強化 系 会計コード 01 | 款 | 03 | 項 | 01 | 目 | 09 | 事業 11 名 ふれあい保健福祉事業 在宅介護者緊急時支援事業 計 要支援又は要介護認定者の在宅介護者が、急病等の特別な事由により在宅での介護ができないときに、日ごろ利用し ている宅老所等で緊急の宿泊を行った場合に、経費の一部を助成する。 事務事業の概要 画 在宅の介護者が、緊急の事由で要支援・要介護者の介護を行えなくなったときに、日ごろ利用しており馴染みのある 環境(宅老所等)で宿泊できることで、混乱や不安なく在宅介護を継続できるよう支援が必要。 現 状 と 背 景 (どうして) 受益者 在宅介護者及び要支援又は要介護認定者 (誰のために) 対 家急の事由により介護を行えなくなった、在宅の介護者及び要支援又は要介護認定者 象 対 目 直接働きか Р 的 宅の介護者が、緊急の事由で要支援・要介護者の介護を行えなくなったときに、日ごろ利用しており馴染みのある環境(宅老所等)で宿泊することで、介護者、要支援・要介護者ともに混乱や不安なく在宅生活を継続できるようにす 図 (どんな状態にしたいか) ー 事業の利用を希望する者は事前に市に登録し、通知により事業の可否決定を受ける。この事業により要介護者等を緊 急宿泊させた実施施設は、報告書を提出し、助成を受ける。 L 手 段 ・ 方 法 (どうやって) Α 行政が活動することで作り出すもの指 称 単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値 標 名 1 緊急時支援事業が利用される① 利用者数 緊急時支援事業の利用実人数(実績) 2 活 N 動 2 2 緊急時支援事業が利用される② 延利用回数 緊急時支援事業の報告件数(実績) 評 指 標 価 指 変更 標 履歴 ഗ 成果・効果は何? 指標名称 単 位 | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など | 最終目標値 作 事業利用者のうち施設入所となった者を除 した人数が、事業利用者数に占める割合 事業利用者の在宅介護 成 成 1 本事業利用者の在宅生活が継続される % 90 果 2 指

実		項		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事業費等(a)	円	16, 000	36, 000			
施	財	国庫支出会		円					
лв	源	県支出会		円	8, 000	18, 000			
	内	地方		円					
		その他特定財派		円					
状	訳	一般財源		円	8, 000	18, 000			
			目標	人	2	2			
		利用者数	実績		1				
況	活		達成率	%	50.00	_	_	_	_
106	動		目標		2	2			
	動指	延利用回数	実績		1				
	標		達成率	%	50.00	_	_	_	_
<u> </u>	1XX		目標	l _ l					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	_
		事業利用者の在宅介護	目標	%	90	90			
D	成	継続率	天限		0				
	成果指		達成率	%	0. 00	-	-	_	_
	指		目標	_					
0	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
)									
	考								

要更 履歴

# 3	次去光	<i>p</i> .		- 古人数本取名叶十级专业		市米 加田	0000	左曲	反由妥口	01
				宅介護者緊急時支援事業高齢者・保険課		事業期間 高齢者福	2000 ~	年度	係内番号 連絡先	21 334
느					0000 ====					
事中	項 当始55過に題境の は 1 年後 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1	開約経所に開かる	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	- 度
評	新実画要(改要年	計算事項								
価	安年 度 方向 性 課長評	果コスト								
	項	Ħ	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	度
事	変動	成 果	必要な日数の事業利用が 実施することができたため、緊急の事由により介 を行えなくなった、在宅の 介護者及び要支援又は	度			2021 122			
後	要		介護認定者の緊急宿泊で 支援することができた。	F						
評	因:									
価 (C I	総合	成果	本事業の利用者において、緊急宿泊時の負担額減につながった。	£						
E C K)	評価	課題	概ね目標値と実績が近し 結果になった。							
改	翌々年度	成果	現状維持							
革	方向 性	コスト	現状維持							
・改善の	改及革	果やコ	今後も緊急宿泊が必要と なるケースがあり得るた め、コストを維持していく。	,						
方向性(· 改	ストの方								
(A C T)	善	向性の内容								
	策び		per state of a		<u> </u>					
	成担当		伊藤 浩志 平澤 精一							
	冬評価責 冬評価年		平澤 精一 2019年5月17日							

第 5	次	茅野	F	総	合計画	一前:	期事務	事業評価シー	ト(主要	事務事	業用)			一般会	【信金	整	建 理番号	040	20227
事務	事美		地	域3	を援事:	業認	知症予	防事業						事業期間	2013	~	年度	係内番	号	27
担 à	当部	署	儷	康神	富祉部			高齢者・保険説	Į					高齢者福	祉係			連絡先	Ē	334
	TL.			基士	項	目	計画CD		計画名称	尓			施策の 柱CD		施策	の柱の名	5称	実征	宁計画	
	政策	01		本計	基本語	計画①	01	地域福祉計画					0000	複数の柱に	またがる	事業			施策の こおけ	
	番号	VI		画体	基本語	計画②	01	地域福祉計画					0000	複数の柱に	またがる	事業		-	とない	-
	7			系	実行	計画	02	高齢者保健福祉	計画 (-	一般会記	计分)		0401	認知症の方	を地域で	支える支	援の推進	の	関連度	
	予	算	耳	1	業 名	地域	支援事	業 認知症予防	事業						会計コ	ード 0 [.]	1 款 03 3	頁 01	目 10	事業 06
#	事系	务事 ボスタ	. 第	美の	概 要	応、	予防に	防事業対象者に 資する心身の機 ための資源とな	能維持に	ついて	元気									
画		現在、85歳以上の方では4人に1人が認知症と言われては十分にされていない。認知症について幅広く学びまるいの体制づくりにつなげる事が重要。																		
Д.	目的	対象	文	誰の f	を 者 ために) 象 動きかけ)	一般	介護予	防事業対象者及	び元気高	6齢者	(おお	むね6!	5歳以.	E)						
	Ħλ	意 (どん	なも	犬態にし	図したいか)	早期	発見と	いて幅広く学び 地域での見守り Dana Mark Hook Hook	・支えを	い等に	つなに	げる。								
L A	-				方 法 て)			防事業対象者と 座を開催する。	龙乳商 蘭	百古でイ	UT TU	2 X) \$	(I I	88、知亚 • 6	8.知証 <	· 口 腔 懷 !	16の関係。 7	(V) (V)	9) (J) <u>18</u>	ر. دا ال <mark>حد</mark>
			行	政	が活	動する	ること	で作り出すも	の指	標	名	称	単(立算出方法	去・計算	主式・目:	標値設定の考	え方な	ど最終	終目標値
		活	1	認失	0症予	防講座	医の開作	ŧ		開催回	回数		クール	レ認知症	予防講座	医の開催	回数(実績)			3
Ν		動	2																	
	評価	指標	3																	
	指	IX	ш	更																
O	標の		履	夏歴																
	作	_		表到 在	ne文		· 効果(は何? 舌が増え、健康 ⁺	指	標	名	称	単位	1 算出方	法・計算	算式・目標	標値設定の考	え方な	ど最終	終目標値
	成	成果	1				が増加		1	受講	計数		人	認知症	予防講座	医の受講	者数(実績)			60
			2																	
		1示		更 夏歴																

_									
実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	1, 622, 040	1, 265, 000			
施	財	国庫支出金		円					
WE.	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		田	1, 622, 040	1, 265, 000			
状	訳	一般財源		円					
			目標	クール	3	3			
		開催回数	実績		4				
況	活		達成率	%	133. 33	_	_	_	_
N.	動		目標	_					
	指	_	実績						
	標		達成率	%	_	_	_	_	_
<u> </u>	1224		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
_			目標	人	60	60			
D	成	受講者数	実績		84				
	果		達成率	%	140. 00	-	_	_	_
	果指標		目標	_					
0		_	実績						
	/++-		達成率	%	_	-	_	_	_
	備								
J	-+-								
	考								

事系	务事業	名 北	域支援事業 認知症予防事	業	事	業期間 2013 ~	年度 係内番号 27
担	当部:	署優	康福祉部 高	合者・保険課	高	齢者福祉係	連絡先 334
事	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中	当始5ヶし、19年後月、19世上点の19世点の19世点の19世点の19世紀である。	約経 が経た問い環					
評	新実画要(改 翌度方性年施・求改善 年度向性	計 予算 事項 革・					
価	課長評	価日					
	項	8	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事	変	戓	年4クールの認知症予防 講座を開催することができた。	2019千戌	2020年度	2021年及	2022年度
後	動芸						
評	因:						
価(ひ エ	総合	成果	講座を通して、認知症予防 に対する理解や実践を受 講者自身が行うことができ た。				
E C K)	評価		冬期の受講者が少なく、また会場も寒いため、暖房設備が整っている会場での開催を計画したい。				
改	翌々 年度	成果	現状維持				
革	方向 性	コスト	現状維持				
・改善の方向	改 及 革 ·	果やコスト	平成31年度は年3クール とし、冬期の参加者の動向 を見ていく。				
性(ACT)	改善策び	の方向性の内容					
	******		海林 外士				ı

作成担当者	伊藤 浩志		
最終評価責任者	平澤 精一		
最終評価年月日	2019年5月17日		

第:	5次	茅野	市総	合計画	・前期	事務	事業評価シート	(主要事	務事業	用)			【一般:	会計】		整	整理番号	∮ 04	020231
事剂	务事為	美名	地域3	支援事業	東 介護/	用品3	支給事業					事業期間	2000	~		年度	係内都	备号	31
担:	当 部	署	建康神	富祉部		i	高齢者・保険課					高齢者和	祉係				連絡	先	334
	-1		基	項	目計	画CD	Ī	計画名称			施策の 柱CD		施策	きの柱の	の名称		美	行計画	<u> </u>
	政策	01	本計	基本計	画①	01 ±	也域福祉計画				0000	複数の柱	にまたがる	事業			σ	施策の)
	番号	01	画体	基本計	画②	01 5	也域福祉計画				0000	複数の柱	にまたがる	5事業				Eにおい 指標と	
	75		系	実行	計画	02	高齢者保健福祉 語	計画 (一般	会計分	})	0405	生活支援	サービスの)充実・	強化		σ	関連原	麦
	予	算	事	業 名	地域支持	爰事為	* 介護用品支給	事業					会計コ	ード	01 款	03	頁 01	目 1	0 事業 10
計					在宅には	おいて	おむつ等の介護	用品を必	要とし	ている	高齢者	等を介護	している	世帯	こ対して	、介護	用品を	支給	する。
				概要															
画																			
	18	412	L =		在宅介記	雙の制	±続や推進される	よう、低	所得世	帯の経	済的負	担の軽減	が必要で	きある	ため。				
		1人 どう		背景で															
(1.			人数加	<u> </u>)規定により、要	・ 人 都 りょいこ	· # A 8	#C+-	· • • • • •	++++	<u> </u>	· + · - ·	* ^ ^ *		· .N === 1	<u>+ 7 :</u>	***
				ために)	で介護し	してし	いる世帯の市民税	が非課税	<u>の者。</u>										自で任七
	目	象	対 (直接作	35	介護保險	贫法∅	対定により、要	・介護3から	要介記	隻5まで	の認定	をされた	者の介置	者で	世帯の市	民税非	課税の)者。	
Р	的	対象対象の 分談 多の 分談 を			介護田 。	こをさ	を給することによ	፡ ሀ 孝の፡	世帯の	介護台	坦を報	減するこ	<u> </u>	」	マ小誰が	継続で	· きる.		
		意 (どんな	状態にし	図 したいか)	71 RSE/111	III C >	C#17 0 C C IC 6	. ,	E 111 03	71 DE 94	JE 6 40		LICO.	, ш	C) BEN	442.496			
L							入した対象世帯								触機関へ	の振込	いにより	助成.	する。
Ė	手	段		方 法	介護用品 (1)紙お	品は、 むつ	以下の項目うち (2) 尿取りパッ					支給の対 (4)清払			(シャン	プー			
	-	どう																	
Α																			
		1					で作り出すもの	指標	全	4	が 単	位算出方	5法・計算	算式・	目標値設	定の考	きえ方な	ょど 最	:終目標値
		活		ピ介護で よ負担の		る非	課税世帯の経済	助成を	受けた	-人数	人	介護用	品が支給	合され	た実人数	文(実統	()		50
Ν	=	動	2																
	評価	指標	3																
)	指標		変更					I			_ L	II.							
	の	-	履歴		武田 か	1 HI (1	/T 0	+15 +1	西 夕	1 /-	** /	4 答山-	<u>-:+</u> =14	×-+	口描法部	k =	←=+ +	\ L2 B	44 口 播 店
	作 成	成。	」支≉		成果・贫 と世帯で		介護が継続され		票 名		単位	Bh st 太	5法・計算 受けた れ			–			終目標値
	<i>1-</i> 20.	果_		• · ·				任3	宅継続		%	合						-	90
		標-	<u> </u>	1							1								
			変更 履歴																

実		項		目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事業	費等	(a)	円	2, 735, 640	1, 662, 000			
施	財		庫支出		円					
ЛE	源	県	支 出	金	円					
	内	地	方	債	円					
		その	他特定則		円	2, 735, 640	1, 662, 000			
状	訳	_	般 財	源	円					
				目標	人	50	50			
		助成を受け	ナた人数	実績		53				
況	活			達成率	%	106. 00	-	_	_	_
200	動			目標						
	動指	_		実績	0.1					
	標			達成率	%		_	_	_	_
<u> </u>				目標	_					
		_		実績	0.4					
				達成率	%	_	_	_	_	_
D	-		ter .	目標実績	%	90 90	90			
	成	在宅継続	-	夫 根 達成率	%	100.00				_
	果指				70	100.00	_	_	_	
	標	_		目標 実績	_					
0	175			達成率	%	_	_	_	_	_
	備			廷成年	70					_
	lΉ									
)	考									

			域支援事業 介護用品支給			事業期間	2000 ~	年度 係内番号	31
				治者・保険課		高齢者福祉		連絡先	334
事中	項目 当始5ヶし、 5ヶし、 10世点の は生点の	開約経行に問	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度	2022\$	F.度
評	新実画要(改要)	十 多算 事項 声 ・							
	度	果							
-	性	コスト							
価	課長評	価日							
事	項目	戉	2018年度 (H30) 介護用品を必要とする方 の介護負担の軽減を図る ことができた。	2019年度	2020年度		2021年度	2022年	F度
後	動力								
評	因名	分							
	<i>~</i> ∤	折							
価 (C H	総合		継続的な介護が必要な場合において、介護用品購入に係る費用の負担を行うことで、介護者の負担軽減が図れている。						
E C K)	価		本事業が、同居している介護者で非課税世帯を対象としていることの理解を対象者に求め、適切な運用を図っていく。						
改	翌々 年度	成果	現状維持						
革	方向性	コスト	現状維持						
・改善の方	改及革	成果やコス	本事業の実施要綱に定め る対象者に適切に利用さ れるよう事業を推進してい く。						
向性(· 改	トの方向:							
A C T)	善策び	性の内容							
作	成担当	者	伊藤 浩志						
最終	冬評価責 ^を	任者	平澤 精一						

最終評価年月日

第 5	5次	茅野	市	総合計画	画・前其	事務	事業評価シート	・(主要事務	事業用)			【一般会	会計】	整	理番号	04020232
事務	多事多	集名	地	域支援事	業徘徊	画高齢	者家族支援サービ	ス事業			事業期間	2000	~	年度	係内番号	32
担当	当 部	署	健	康福祉部	3		高齢者・保険課				高齢者福	祉係			連絡先	334
	_,				目	計画CD		計画名称		施策の 柱CD		施策	の柱の名称		実行	計画
	政策	01		本量基本	計画①	01	地域福祉計画			0000	複数の柱に	またがる	事業		の施	_
	番	01			計画②	01	地域福祉計画			0000	複数の柱に	またがる	事業		一 仕に る指	おけ 中 標と
	号			体 系 実行	于計画	02	高齢者保健福祉	計画(一般会	計分)	0401	認知症のだ	を地域で	支える支援	の推進	の関	連度
	予	算	事	業名	地域支	援事	業 徘徊高齢者	ア族支援サー	ビス事業	ı		会計그	ード 01	款 03 耳	頁 01 目	10 事業 11
함				の 概 要 りゃすく)	を利用		る高齢者が徘徊(貸与する。	こより行方不	明になったが	易合、	現在位置る	を特定す	るための	位置検索シ	ステム専	用端末機等
画				背景して)	状態に	ある	態で徘徊の見らね ことで介護者の1	担が軽減さ	れ、在宅介	養の継	続が推進る	される。	不明にな	った場合で	も早期に	発見できる
P	目的	対 象	対	益 者 (のために) 象 (接働きかけ	が は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	見らの状	れる認知症の状態れる認知症の状態にある高齢者が	まにある高齢 が徘徊により	者。 行方不明と ⁷	なり、	その者の	家族等か				
L	手	段		が 方 法 って)	介護負申請が	担を	し、家族等に通9 軽減する。 た時は各保健福								2251	、家族等の
			行	政が活	動する	こと	で作り出すもの	指 標	名 称	単(位 算出方	法・計算	算式・目標	値設定の考	きえ方なと	最終目標値
N		活動	1 4	麦置が貸	と与され	3		装置新	規貸与数	台	当年度(実績		見に装置が	貸与された	:件数	1
		指標	2													
)	指標	1示	変履													
	の作				成果・			指標	名 称	単位	算出方	法・計算	算式・目標	値設定の考	え方など	最終目標値
	成	成		テ方不明 が維持さ		置の	型握が出来る状況	装置和	川用者数	人	装置を	利用して	いる人数	(実績)		2
		果 指	2	- 49614 6	4-3											
		標	変履					1		1						1

実		項				目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事	業	費	等	(a)		円	0	20, 000			
施	財			車 支		金		円					
/IES	源	!	県	支	出	金		円					
	内		地	方		債		田					
			その	他特				円	0	20, 000			
状	訳			般	財	源		円					
		l				-	目標	台		1			
		装置新	規算	(与数	Į.		実績		0				
況	活						達成率	%	0.00	_	-	_	_
200	動					-	目標	_					
	動指	_					実績						
	標						達成率	%		_	-	_	_
<u> </u>						-	目標						
		_					実績	0.4					
							達成率	%		_	_	_	_
D	-	** ** **		w. 1824.		-	目標	人	2	2			
	成	装置和	J/H) Z	致		-	実績	%	0 00				
	果指						達成率	90	0. 00	_	_	_	_
	押標					-	目標実績	_					
0	尓	_					夫 根 達成率	%	_	_	_	_	_
	備						连队华	%		_	_	_	_
	TJ/Ħ												
)	考												

事系	务事業名	古地	以域支援事業 徘徊高齡者家	『族支援サービス事業		事業期間	2000 ~	年度	係内番号	32
担	当部署	客 促	康福祉部 高調	治者・保険課		高齢者福	业係		連絡先	334
事	項目		2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	度
中	当始を 5ヶ人 が 5ヶ人 が に 担 点 の で 見 に た の で 見 に た の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	が経 ftc io問								
評	新実画要 の 要 で 改善 の き き	十 算 算項 き・ き)								
	度 方向 性	成 果 コスト								
価	課長評価	価日								
	項目		2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	- 度
事	○ d 変 果	戈	本事業に対する問合せは あったものの、実際の利用 はなかった。この傾向はこ こ数年続いている。							
後	動指	Ė								
	要標	票								
評	因分									
	──────────────────────────────────────		介護支援専門員連絡会で							
価 (C H	総合	成果	の周知や市ホームページ での掲載を継続したため、 一定の認識はなされてい る。							
E C K)			徘徊のおそれのある方に 適切に利用されるように継 続実施していく。							
改	翌々 年度	成 果	現状維持							
革	大向	コスト	現状維持							
· 改善	改及	果や	徘徊のおそれのある方に 適切に利用されるように継 続実施していく。							
の方向	•	コストの								
性(A	改) 方向性								
C T)	善	の 内								
作	成担当		伊藤 浩志							
_	·沙二二 《評価責任		平澤 精一							
最終	·	月日	2019年5月17日					1		-

第 5	次	茅野	ħ.	総合	画信名	・前	期事務	8事業評価シ	·- ト (主要事務	事業用)			一般的	会計】			整理	番号	0402	20234
事務	事第	業名	地	域支	援事	業介	護福祉	金支給事業						事業期間	2000	~		年	度係	内番号		34
担当	当部	署	健	康和	祉部			高齢者・保	険課					高齢者福	业係				i	車絡先		335
	政			基本	項	目	計画CD		計画	画名称			施策の 柱CD		施策	の柱の)名称			実行	計画	
	策	01		計	基本語	#画①	01	地域福祉計画	S				0202	日常生活支	援					の施行		低
	番号	VI		画体	基本詞	計画②	01	地域福祉計	画				0202	日常生活支	援					る指		745
	7			系	実行	計画	02	高齢者保健	福祉計画	町(一般会	計分)		0405	生活支援サ	ービスの	充実・	強化			の関	連度	
	予	算	事	事	* 名	地域。	支援事	業 介護福祉	L金支給	事業		•			会計コ	ード	01	款 03	項	01 目	10	事業 13
at .						重度(の要介	護者等を家履	で介護	している	者に対	し、か	護福	业金を支料	する。							
					概 要 すく)																	
画																						
_	TEI	415		. =	e =			護者を家庭で なため。	で介護す	ることは	、施設.	入所者	fに比	ベ家族の身	体的・	精神的	りな負	担がフ	くきけ	、介護	者に	対する
		状 どう			f 景 て)																	
<u> </u>																						
		섞		益 誰のた		重度(の要介	護者を家庭で	で介護し	ている者												
	目		(直接働きかけ					で介護し	ている者													
Р	的	水 (直接働きかける) 小護者の労に				111																
		意	,tr st	· 解: (二)	といか)	介護者	首の労	に報いるとる	こもに、	その家族	の福祉の	の同上	を図り	り、重度の)要介護	[者の	1七年	活の書	建建を	⊠る。		
		(270	7.0. 0		,,,,	要介記	\$ 3.4	または5の認	定を受(けているも	5 存、年	E間18	0日以.	上居宅にお	sいてか	- 護し ⁻	ている	者(1	↑護し	ていた	者)	に介護
L	-	EЛ		_	- :+			て5万円を支						_,								
	-	段 どう			ī 法 て)																	
A																						
			行	政:	が活	動する	ること	で作り出す	もの指	重 標	名	称	単位	立 算出方法	去・計算	章式・	目標値	直設定の	の考え	方など	最終	目標値
		活	1	介護	福祉	金が支	給され	れる		支給	人数		人	介護福祉	业金等な	(支給	された	実人	数(実	(績)		280
N		動	2																			
	評価	指標	3																			
	指	変更																				
<u> </u>	標の		履	歴																		
	作	-				成果•	効果に	は何?		指標	名	称	単位	算出方法	法・計算	拿式・	目標値	直設定(D考え	方など	最終	目標値
	成	成果	1				される		A 5#	支給継	続者数		人	前年度加	から継続	表して	支給さ	された	者の人	.数	1	160
		指標	2			受けた られる		引き続き在宅	が護	支給	継続率		%	支給継続	売者がる	た給対	象者に	こ占め	る割合	1		60
		示	_	更																		
			曆	歴																		

実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	13, 769, 620	15, 077, 000			
施	財	国庫支出金		円					
ЛE	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	13, 769, 620				
状	訳	一 般 財 源		円		15, 077, 000			
			目標	人	280	280			
		支給人数	実績		275				
況	活		達成率	%	98. 21	_	-	_	_
<i>1)</i> L	動		目標	_					
	動指	_	実績						
	標		達成率	%	_	_	-	_	_
<u> </u>	10.24		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_		-	_	_
_			目標	人	160	160			
D	成	支給継続者数	実績		161				
	果		達成率	%	100. 63	_	_	_	_
	指揮		目標	%	60	60			
0	標	支給継続率	実績		59				
	1-14-		達成率	%	98. 33	_	_	_	_
	備								
)	考								

		_	域支援事業 介護福祉金支			事業期間		年度 係内番号	34
担				令者・保険課 		高齢者福		連絡先	335
事	項	_	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度	2022年	度
	当年度 始後、								
	5ヶ月だ 過し、新	が経							
	に生じ	t-問							
中	題点や境の変	化							
	新年月	<u></u>							
	実施記	+							
	画・] 要求事								
評	(改革	直•							
	改善5 翌年	成							
	度	果							
	方向 性	コスト							
価	課長評	価日							
	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度	2022年	度
事	~ J		重度の要介護者を家庭で 介護している者に対し、介						
T	変!	果	護福祉金を支給した。						
後	動打	旨							
~	要相	票							
評	因:	分							
AT	~ ₁	折							
価			支給継続率において、ほ						
, muj			ぼ変動がないことから、在 宅介護が継続されているも						
^		成	のと推測される。						
С		果							
	総								
Н	合 評		支給対象者の把握では、						
E	価		多くの個人情報を扱うため、より安全な方法が求め						
С		課	め、より安全な万法か水の られ、検討が必要。						
		題							
K		咫							
)									
改	翌々 年度	成果	現状維持						
革	方向 性	コスト	現状維持						
•	改及	成	高齢者人口の増加に伴 い、要介護認定者の増加						
改		果	も著しく、介護老人福祉施						
善	革	•	設へ入所を希望される全 員が入所することは難しい						
Ø		コス	状況にある。介護保険制 度の本旨である在宅介護						
方			の継続のため、制度にない サービスは「ふれあい保健						
向		の	福祉事業」で補完し、さら						
性	改		に、在宅介護を継続しやすい環境を整えていくことが						
•		向	重要と考える。このため、 在宅介護の後押しとなるよ						
A	善	性	う、本事業で介護者の労に 報いる支援を継続してい						
C		0)	<.						
T •	生が	内。							
	策び		高条 占官						

最終評価年月日

平澤 精一

第 5	次	茅野	T T	i総1	合計画	ī · 前:	期事務	8事業評価シート	(主要事務	事業用)			一般会計	-1	整	理番	号 040	20235
事務	事第	業名	地	域3	支援事:	業家	族介護	者交流事業				事業期間	2000 ~	- <u> </u>	年度	係内	番号	35
旦当	当部	署	健	康礼	富祉部			高齢者・保険課				高齢者福	业係			連絡	8先	334
	TL			基	項	目	計画CD	=	†画名称		施策の 柱CD		施策の村	主の名称			実行計画	
	政 策	01		本計	基本語	計画①	01	地域福祉計画			0000	複数の柱に	またがる事業	ŧ			の施策の	
	番号	UI		画体	基本語	†画②	01	地域福祉計画			0000	複数の柱に	またがる事業	ŧ			柱におけ る指標と	
	7			不系	実行	計画	02	高齢者保健福祉計	画(一般会	計分)	0405	生活支援サ	ービスの充実	₹・強化			の関連度	
	予	算	事	1	業 名	地域	支援事	業 家族介護者交	流事業				会計コード	° 01	款 03 耳	頁 01	目 10	事業 14
it i	+ 7	v =	- 44	<u> </u>	ion as			護状態(要介護3 方のリフレッシュ							り旅行や	温泉	入浴等に	より介
					概要													
画						在字:	で高齢	者を介護している	家族は精神	的な負担を料	コネで	いるため、	介護負担	タタ 軽減	するため	のす	揺として	他の家
					背景で)	华 生		情報交換できる			370 01	0.07207	7 REPORT	₩ C + I	<i>y</i> • 0 1 2 0.			
			受		全 者	在宅"	で要介	護3以上の高齢者	等を介護し	ている家族の)方等。	•						
	目	対象	(誰のために) 対 象 (直接働きかけ					者等を介護してい	る家族の方	等。								
Р		χ,		象 <mark>在宅で高齢者</mark> ^{直接働きかけ}														
	的	意	なり	· 能 (二 l	大護働きがけ ・ の の の の の の の の の の の の の										しみを感	ŧĽ,	気分転換	や精神
				外護者の孤立を防ぐとと 的な負担感が軽減される 毎年10月と2月頃に茅				と2月頃に茅野市	社会福祉協	議会が開催る	-企画	して実施す	る事業に	補助を行	<u></u> う。			
L	=	EU	_	-	方 法													
	-				7 法 て)													
A																		
			行	政	が活	動する	ること	で作り出すもの	指 標	名 称	単位	立 算出方法	去・計算式	・目標値	設定の考	きえ方	など最終	終目標値
		活	1	交流	作事業:	が開催	きされる	5	開催	回数	<u> </u>	事業の問	開催回数					2
N		動	2															
	評価	指標	3															
	指		変	L 支更														
	標の		曆	成果・効果は何?								1						
	作							は何?	指標	名	単位		法・計算式					
	成	成果	Ĥ	参加	口者が:	増える	<u> </u>		参加者	の増加率	%	今年度(の参加者数	÷前年度	の参加者	野数×	100	105
		指標	2															
		17F	-	更歷														

実		項	目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事業費等	(a)	円	350, 000	450, 000			
施	財	国庫支出		円					
ЛE	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	田					
		その他特定則		円	350, 000	450, 000			
状	訳	一 般 財	源	円					
			目標		2	2			
		開催回数	実績		2				
況	活		達成率	%	100. 00	_	_	-	_
100	動		目標	_					
	動指	_	実績	0.4					
	標		達成率	%	_	_	_	_	_
			目標実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
			目標	90	105	105		_	_
D	成	参加者の増加率	実績	%	94	100			
	ル	シ 加省の相加平	達成率	%	89. 14	_		_	_
	果指		目標	70	00.14				
	標	_	実績	_					
0	17.1		達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

事剂	8事業	名地	域支援事業 家族介護者交	E流事業		事業期間 2000 ~	年度	係内番号	35
担:	当部	署 俊	唐福祉部 高調	治者・保険課	7	高齢者福祉係		連絡先	334
事	項		2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度		2022年	度
	当年度 始後、	開約							
	カレ、デ 5ヶ月が 過し、新	が経							
	に生じた	た問							
中	題点や 境の変	環 :化							
	新年度実施記								
	画・う	7算							
評	要求事								
	改善第								
	翌年	成果							
	度 方向	オコスト							
価	性 課長評								
			0010 = == (1100)	00405	0000 			0000	
	項		2018年度 (H30) 本事業の参加者の募集を	2019年度	2020年度	2021年度		2022年	- 度
事			積極的に行ったものの、2 回の交流事業の参加者は						
	変見		前年度に比べ減少した。今						
後	動力	旨	後、参加対象者の対象範 囲を再検討していく。						
	要相	票							
評	因名	分							
	<i>∪</i> ∤	折							
価			本事業に参加した方は、交						
11111			流事業を通して日頃の介 護のリフレッシュが図れ						
<u> </u>		成	た。						
С		果							
	総								
Н	合								
E	評価		新たな参加者の確保や参加対象者の拡大を検討し、 より多くの方に参加してい						
	т.	鋰	より多くの方に参加してい ただけることを検討する。						
С			72727 0 - 22 22 27 7 00						
K		題							
)									
改	翌々	成	現状維持						
革	年度 方向	果 コスト	現状維持						
	性		企画実施している茅野市						
改	~ <i>/</i> /	果	社会福祉協議会における実施要綱での対象者を見						
善	革		直し、より多くの方の参加						
O	平	⊐	を検討していく。						
方		ス							
向	•	۲							
性		の							
<u> </u>	改	方							
Α		向							
С	善	性の							
т		内							
٦	策び								
作	成担当		伊藤 浩志			<u> </u>			
	???!—— ?評価責		平澤 精一						
最終	評価年	月日	2019年5月17日				_	_	_

実		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	617, 792	754, 000			
施	財	国庫支出金		円					
/IE	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	617, 792	754, 000			
状	訳	一 般 財 源		円					
			目標	در ا — ره	140	140			
		入浴券交付シート数	実績		148				
況	活		達成率	%	105. 71	_	_	_	_
沥	動	マッサージ券利用件数	目標	件	250	250			
	動指		実績		302				
	標		達成率	%	120. 80	_	_	_	_
$\overline{}$	1XX		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
_		入浴券交付シート数維	目標	%	100	100			
D	成果指	持率	実績		95				
	果		達成率	%	95. 48		_	_	_
	指	マッサージ券利用枚数	目標	%	100	100			
0	標	維持率	実績		137				
			達成率	%	137. 27	_	_	_	_
	備								
	4.								
	考								

96

本年度利用延件数÷前年度利用延件数×100

100

指

標 変更 履歴

	74	<u> </u>			I	47.88 000C	F #
			域支援事業の護者入浴・		事業		年度 係内番号 36
느				合者・保険課		者福祉係 —————————————————————	連絡先 334
事	項目	_	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度 始後、約	開約					
	5ヶ月が過し、新	が経					
	に生じが	た問					
中	題点や 境の変	' ['] 块 '化					
	** *= =						
	新年度 実施計						
	画・予	9算					
評	要求事						
	改善第	(美)					
	翌年度	成 果					
	方向	コスト					
価	性 課長評	価日					
			2010年本 /1120\	2010年中	0000左==	0001年	0000左曲
	項 目		2018年度 (H30) 入浴券の様式や精算方法	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事	変見	Į.	の見直しを行い、本事業の 要綱改正を行った。				
			X##### 611 7/28				
後	動扌	Ħ					
	要相	票					
評	因分	'					
	√ 村	折					
価			マッサージ券については、				
Т			必要な介護者に施術が施 せた。				
~		成					
С		果					
	総						
Н	合						
E	評価		入浴券がより適切に利用さ れるように				
		課					
С							
K		題					
_							
改	翌々	成	現状維持				
革	年度 方向	果コスト					
	性改及	균	現状維持入浴券が実際使用された				
改	以及	果	大治療が美味使用された 枚数を把握し、実際の使用 分に対しての支払いを温				
善善		木や	泉施設事業者に行う仕組				
。 の	革	` 	みを始める。				
方		ス					
向	•	۲					
性		の					
<u>н</u>	改	方					
A		向					
C	善	性					
		の					
T	₩ 1°	内宏					
,,,	策び		199 40t 144			1	
_	成担当 《評価責任		伊藤 浩志 平澤 精一				
取引	マロ 三川 三川	17.73	→ / 	İ		Ī	i e

最終評価年月日

第 5	次:	茅野	市	総台	画信名	一前	期事務	事業評価シ	一ト(主	E要事務	事業用)			【一般会	計】		整	理番	号 040	20240
事務	事第	業名	地	域支	援事	業認	知症サ	ポーター養成	事業					事業期間	2017	~		年度	係内	番号	40
田当	当部	署	健	康福	祉部			高齢者・保障	食課					高齢者福	祉係				連絡	5先	334
	πh			基	項	目	計画CD		計画:	名称			施策の 柱CD		施策の	の柱の名	称		PIN.	実行計画	
	政 策	01		本計	基本記	+画①	01	地域福祉計画	Ī				0000	複数の柱に	またがる	業				の施策の 主におけ	中
	番号	"		画体	基本記	+画②	01	地域福祉計画					0000	複数の柱に	またがる	業			1	る指標と	•
	7			系	実行	計画	02	高齢者保健社	區祉計画	(一般会	計分)		0402	認知症サオ	ペーターの1	を 成と活用	の推済	隹	(
	予	算	事	業	* 名			業 認知症サ							会計コー			03 項			事業 19
			事業の概要 (たわかりやすく)							印症サポ	! —ター	のレベ	、ルア :	ップを図る	るためのも	研修を行	in, i	地域に	おい	て認知症	への理
画		高齢化の進展に伴い、認知 れ、活動されることで、認 (どうして)								なる方が D方が安	⁽ 今後増 心して:	えると生活で	: 予想で : きるb	される。♯ 地域社会₹	也域におし をつくる』	いて、 多 必要性が	くの	認知症 。	サポ-	ーターか	養成さ
P	目的	対象	対	隹のた	(認知	定サポ	ーター ーターとなっ 認知症サポー								警及活動	に参	加でき	るよ	うにする	0 0
L	-	段		7	たいか)	認知	定サポ	一ターを養成	なすること	とや、認	知症サ	ポータ	<u>-の</u>	レベルア:	ップを図る	ることを	、研(修を通	して	行う。	
A	(}	どう	*	。 つ	て)																
			行					で 作 り出 す な研修、ステ		標	名	称	単位	算出方:	法・計算	式・目標	値設	定の考	え方	など最終	終目標値
		活	1			多の実		CWTIS . A.T	97	研修の	実施回	X									10
N	評	動指	2																		
	価		3																		
)	指標		-	更歴																	
	の 作		力表	JiE.		成果	· 効果(ま何?		指標	名	称	単位	算出方	法・計算	式・目標	[値設	定の考	え方フ	など最終	终目標値
		成						修、ステップ	アッ	参加	0者数		人								200
		果指	2	∠10 1	がで天	旭し、	∌ ∖0,	受講がある。													
		標	1	更																	
			-	歴																	

実		項		目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事業	費等	(a)	円	41, 882	109, 000			
施	財	国	庫支出		円					
ЛE	源	県	支 出	金	円					
	内	地	方	債	円					
		そ(の他特定則		円	41, 882	109, 000			
状	訳	_	般 財	源	円					
				目標		10	10			
		研修の実	施回数	実績		7				
況	活			達成率	%	70.00	_	_	_	_
<i>D</i> L	動		目標		l _ l					
	動指	- 実績								
	標			達成率	%	_	_	_	_	_
<u> </u>				目標						
		_		実績						
				達成率			_	_	_	_
D		- A - L		目標	人	200	200			
D	成	参加者数		実績		260				
	果指			達成率	%	130. 00	_	_	_	
	拒			目標	-					
0	標	_		実績	0.1					
	/++-			達成率	%	_	_	_	_	_
	備									
<u> </u>	考									

			は支援事業 認知症サポー			事業期間	2017 ~	年度	係内番号	40
				給者・保険課 		高齢者福			連絡先	334
事	項	<u> </u>	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	度
	当年度 始後、									
	5ヶ月7 過し、新	が経								
	に生じ	た問								
中	題点や 境の変	P塓 E化								
	新年原実施調									
	画•3	予算								
評	要求									
	改善贫									
	翌年	成								
	度 方向	果コスト								
価	性 課長評									
1724										
	項		2018年度(H30) 認知症サポーター養成講	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	度
事			座を開催したいと申し出の							
	変:	果	あった団体等に対し、キャ ラバンメイトを派遣し、養成							
後	動	指	講座を開催することができ た。							
	要	標	720							
評	因:	分								
AL	~ ;	析								
_		171	認知症サポーター養成講							
価			座を開催したいと申し出の あった団体等に対し、キャ							
<u> </u>		成	ラバンメイトを派遣し、養成 講座を開催した。							
		果	講座を開催した。							
С	総									
Н	合									
E	評価		キャラバンメイトがより活動的になるように、福祉21茅							
	ΊШ		野認知症部会での活動と							
С		課	連動させて、キャラバンメ イトの役割分担を検討して							
K		題	いくことが課題である。							
·· _										
改	翌々	成								
中	年度 方向	果	現状維持							
*	性	コスト	現状維持							
改	改及		認知症サポーター養成講 座を開催したいと申し出の							
善善		果や	あった団体等に対し、キャ ラバンメイトを派遣していく							
曹の	革	, _	ラバンメイトを派遣していく ことを継続していく。							
		ス								
方向		۲								
向性		の								
	改	方								
A		向								
C	善	性								
		の								
T)	生 1	内								
J.h-	策切		净 被							
	成担当 終評価責		伊藤 浩志 平澤 精一					+		
	冬評価年		2019年5月17日					+		

第 5	5 次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート(主要事務事業用) 所事業名 地域支援事業 認知症高齢者家族相談支援事業												一般会計]	整	理番	号 040	020305
事務	事美	集名	地	域3	支援事	業 認	知症高	齡者家族相談支援	事業			事業期間	~		年度	係内	番号	05
担当	台部	署	倜	康	福祉部			高齢者・保険課				介護保険係	<u>*</u>			連維	络先	334
	πh			基本	項	目	計画CD	Ī	計画名称		施策の 柱CD		施策の柱	の名称			実行計画	Ī
	政策	01	ı	本計	基本語	+画①	01	地域福祉計画			0202	日常生活支	援				の施策 <i>の</i> 柱におけ	
	番号	VI		画体	基本語	+画②	01	地域福祉計画			0202	日常生活支	援				る指標と	:
	7			系	実行	計画	02	高齡者保健福祉認	十画(一般会	計分)	0401	認知症の方	を地域で支え	る支援の推	進		の関連度	Ę
計	予	算	릨	F :	業名			者家族相談支援事					会計コード		(03 I			事業 12
A I	事務事業の概要 (簡潔におかりやすく)								ミに対し、相	談、保健指	導、助	言等を行う	らとともに、	同じ悩み	を持つ	家族	の交流の	の機会や
画						120 411:	定真熱	考の介護者(安は	1) (才 惣411	症の周辺症	H (油)	実定相も組	と細葉)への	対応に進	lthth.	糖油	的か色は	日を拘え
	認知症高齢者の介護者(家族)は 現 状 と 背 景 にままその思いを誰にも話せず孤 お互いの不安や悩みを吐き出すこ								ず孤立に陥	りやすいた	め、当	事者の会を	開催し、介	護から離				
			受		益 者	認知	症の高	齢者を抱える家族	(介護者)	及び、認知	症の高	齡者						
	目	対象	交		象	認知	虚の高	齢者を抱える家族	(介護者)									
Р	44		る	直接	働きかけ													
	的	意 (どん	かなれ	犬態に	図したいか)	家族	(介護	者)の身体的及び	身体的及び精神的な負担の軽減を図る									
L								高齢者を抱える家 会を定期的に提供		して、他の	家族(介護者)と	: 交流・情報	交換でき	る機会	、相	談・助言	等を受
A					方 法 て)	1, 5,	10.01%	Z 2 Z 7 1 1 1 1 1 2 2 2 7	. , ,									
			行	政	が活	動する	ること	で作り出すもの	指 標	名 称	単	位 算出方法	去・計算式・	目標値記	足定の考	え方	など最	終目標値
		活	1	認知	印症の	高齢者	を抱え	える家族会の開催	開催回数			認知症の数	の高齢者を抗	える家族	を の会の	開催	É 🖸	12
N		動	2	認知	加症の	高齢者	を抱え	る家族会の周知	周知回数			広報等!	こよる周知回	数				12
	評価	指標	3															
	指		Ш	更到													<u> </u>	
_	標 の		履	夏歴		-1		1.17	11- ITE	n 14		h here is a large	= hhr_b				4. 18	40 C IE IE
	作 成	成		認知	印症の		・効果に	^{ま何?} える家族の会への	指標	名 称	単位		法・計算式・		定の考	え力	なと一最	
	120	果	1	参加	者が	増える	<u> </u>	る家族の会への	平均参加者		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		述べ人数÷閉	f惟凹 釵				6
		指標	2	参加	旧者が			C U 35 IK V JA ~ V)	新規参加者	数	人	新規参加	n者人数 ————					2
			_	更履歴														

実		-= D		34 IT	0040 ft ft (1100)	0040 5 5	0000 年 中	0004 5 5	0000 tr tt
		項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		事 業 費 等 (a)		円	8, 640	11, 000			
施	財	国庫支出金		円					
nes-	源	県 支 出 金		円					
	内	地 方 債		円					
		その他特定財源		円	8, 640	11, 000			
状	訳	一般財源		円					
		and his area day	目標		12	12			
		開催回数	実績		12				
況	活		達成率	%	100.00	_	_	_	_
	動		目標	<u> </u>	12	12			
	動指	周知回数	実績	%	12 100.00				
	標		目標	90	100.00	_	-	_	-
•		<u>日</u> 実		_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
			目標		6	6			
D	成	平均参加者数	実績	人	5	•			
	果	1 -0 2 / 4 4 4	達成率	%	83. 33	_	_	_	_
	果指		目標		2	2			
0		新規参加者数	実績	人	1				
O			達成率	%	50.00	_	_	_	-
	備			•					
)	考								

主系	× 車 幸 ×	名₩	域支援事業 認知症高齢者	· 安佐和誂支塔車業		事業期間	~	丘 度	係内番号	05
		_		本族市談文版学末 		介護保険係		十尺	連絡先	334
					2020年度	**	0001 /- /-			
事	項[2018年度 (H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	F.皮
	当年度 始後、	約								
	5ヶ月だ 過し、新									
	に生じ	た問								
中	境の変	化								
	新年月	きの								
	実施記	†								
	画・ 語									
評	(改革									
	改善等									
	翌年度	成果								
	方向 性	コスト								
価	課長評	価日								
	項	目	2018年度(H30)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年	- 度
	~ J	戓	介護者の負担軽減を図ること を目的とした事業であり、定例							
事	変!	果	開催の会であるため、安定し た開催が継続できている。た							
	動力	指	だし毎年参加者の高齢化、介護の終了などの変化がある。							
後	要相	堙	また、一方、周知を工夫しても							
			新規参加者はなかなか増え ず、参加人数自体は横ばいか							
評	因:		減少が続いている。 今後もこの傾向は続くと見込							
	₁	折	んでいる。 年間参加延べ人数57名。							
価			参加人数自体は昨年と横							
		成	ばいであり、数の面では大 きな成果とは言えないが、							
			参加者にとっては家族会 が支えになっていることも							
С		果	事実である。							
н	総合									
	評		参加者自身の高齢化、介							
E	価		護の終了等により参加人 数が減る一方で、新規の							
С		課	参加者がなかなか増えないことが課題。周知方法の							
		題	工夫による参加者増も大き							
K			く見込めないことから、今 後のことも含め家族会の在							
)			り方自体に検討が必要。							
改	翌々年度	成果	現状維持							
革	方向 性	コスト	縮小							
•	改及		家族会は平成15年から続く息の長い会であるが、参							
改		果	加者は年々減少している。							
善	革		認知症を発症する方と介 護する方は増加しているに							
o			もかかわらず、参加者が増えないという現実を受け止							
方		スト	め、本来の事業目的に立ち返る必要があると考えて							
向		の	いる。次年度に関しては、							
性	改	- •	更に周知に力を入れ参加 人数の増員に努力する							
^	×	向	が、同時に、「家族会の継 続」ということにとらわれ							
Α	<u>*</u>	性	ず、介護者の負担軽減とい							
С	善の		う目的が達成されるための 環境整備を検討し、別形態							
T			へ発展させていくことも検 討する。							
	策び									
	成担当		永田 そのか							
最終	於評価責	1±者	平澤 精一		1					